原純子の3つの想い 政治をチェンジ! チャレンジ!

hope of はらじゅん

平和と外交

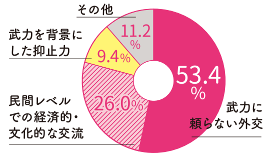
武力で平和は生まれない

　三人の子の母として、いのちを育てる仕事をしてきた保育士として、安倍政権が強行した、安保法制＝戦争法は許せません。さらにいま狙われている憲法改悪の中身、憲法9条の戦争放棄条項や人権条項の削除など絶対に認められないものです。

　平和憲法には日本の侵略戦争で殺された多くの人のおもいと、かなわなかった夢がぎゅっとつまっています。平和な日本を子どもたちに、未来に手渡しましょう。

　日本共産党は平和憲法の精神を世界に広めること、平和外交のネットワーク「北東アジア平和協力構想」を提唱し、その実現のために努力を続けています。

日本の平和を守って行くために、今、最も重視すべきこと



NHK放送文化研究所「平和観についての世論調査」

経済再生・雇用

働くものの賃上げ・消費税10％増税は中止を

　三人に一人が非正規の働き方をさせられている日本。年収200万円以下のワーキングプア（働く貧困層）が1100万人超。長時間労働が横行し、家族との時間も健康も壊されてしまう実態です。賃上げも景気回復も進まずアベノミクスは大失敗。まずは、残業規制と大幅賃上げ――最低賃金1500円をめざす――で、働く人が豊かに暮らせる雇用のルールをつくりましょう。

　税金の集め方を変え大企業と富裕層に応分の負担を求めます。

　消費税増税は延期ではなく、中止させましょう。

保育と福祉

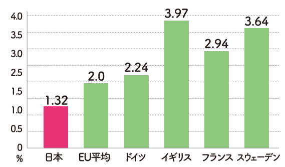
子どもに 高齢者に 優しい政治を

　希望しても認可保育園に入れない子どもが練馬区内に874人（2016年4月1日時点）もいる現実。特養ホームの待機者は約2000人、施設の増設は民間だのみで、まったく追いついていない現状です。その一方で練馬区は、来年度から保育料の値上げを計画しています。

　ひとり親家庭への支援や、介護保険の給付内容は年々削られ、自己負担は増えるばかり。国は、子育て支援とか女性の活躍を言いながら、あまりにもお粗末な福祉の実態ではないでしょうか。

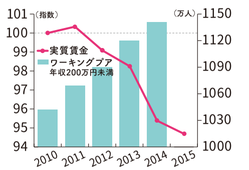
　福祉現場で長く働いてきた私は、生活者の目線と福祉の心で、政治をただしていく決意です。

各国の家庭関係社会支出の対GDP比の比較



内閣府：少子化社会対策白書（H27年版）

減る実質賃金、増えるワーキングプア



国税庁「民間給与実態総計調査」、厚労省「毎月勤労総計調査」より

原純子 HISTORY

働く両親の思い受け継ぎ

私は世田谷区で、共働きの両親のもとで生まれました。父は新聞社に勤め、働く人の権利をまもって労働組合活動に、母は損保会社の保健師として働きながら、女性運動に熱心でした。私は、この両親の背中を見て、まっすぐに育ちました。

3歳の頃の私（右）。2つ年上の姉（左）はしっかりもの、私はのんびり屋でした

福祉を学び、日本共産党へ

高校時代、自閉症のお子さんの学習ボランティアをしたことから福祉に関心を持ち、日本福祉大学に進学。権利としての福祉を求める国民の運動が国の福祉政策を前進させてきたことを知り、未来社会への展望をもつ日本共産党に出会い、入党しました。

20代の頃はアマチュアのミュージカル劇団に所属し、多数出演

障がい児療育の現場で

卒業後、全国福祉保育労働組合の書記を経て、保育士として障がい児施設に勤め、発達支援の仕事に全力投入。三人の子を持つ母となり、区立保育園に子どもを預けて働く中で起きた練馬区立保育園民間委託化の反対運動（2005年）に参加。「福祉・保育を守るには政治を変えるしかない」と、2014年末の衆議院選挙に東京9区から初めて立候補しました。

新しい道をすすもう。

衆院ねりま

はらじゅんこ 福祉の心で政治をただす

党練馬地区 福祉対策責任者、保育士、社会福祉士

原純子

安倍改憲ストップ 戦争法廃止 原発再稼働中止 日本共産党

Commitment of はらじゅん

原純子の公約

- 安倍改憲ストップ、戦争法廃止、立憲主義の回復
- 原発再稼働中止、再生可能エネルギー推進
- 消費税10％増税は先送りでなく中止に、中小業者を支援
- 貧困と格差なくし、社会保障の拡充を
  - 最低賃金アップ・残業時間は法律で上限を設定
  - 認可保育園と学童クラブ大幅増設、保育の質守る人員配置を
  - 給付型の奨学金制度創設など教育費の負担軽減措置を
  - 障がい児・者の教育環境と就労保障の充実を
  - 介護保険制度の改悪中止、特養ホームの大幅増設
  - 年金カット法案ストップ、医療などの自己負担軽減を
  - 福祉職の給与大幅アップと職員配置基準の引き上げ
- TPP参加反対、都市農業を守る
- 「外環の2」などの大型道路や大型開発は見直しを
- 沖縄の新基地建設中止、横田基地の強化反対

力を合わせ頑張ります
日本共産党都議予定候補 とや英津子

ご意見は、練馬地区委員会
☎03-3998-5621へ

OFFICIAL WEBSITE http://hara-junko.com
@HarachanJ
kukure.hara

練馬区民新聞 2016年11月号外 発行責任者：中川のり子 ☎03-3999-9270
日本共産党練馬地区委員会の見解を紹介します。

spirit of はらじゅん

**市民と野党が力あわせ、
いのちを大切にする政治へ**

福祉の道25年

日本共産党
衆議院東京9区予定候補 **原純子**

　「自分らしく生きたい」「家族でゆっくり過ごしたい」誰もが持っている豊かに生きる願いが、いま奪われています。

　働けど働けど苦しい「ワーキングプア」、足りない保育園、少なすぎる年金…。国民には冷たいのに、大もうけの大企業と大金持ちには減税なんておかしいですね。

　この日本でひろがる貧困と格差や憲法破壊の動きに「もう黙ってはいられない」と、多くの市民が立ち上がり、2016年参議院選挙では、全国11の一人区で野党統一候補が勝利しました。市民と野党の共同にこそ政治を大きく変える希望があります。

　私は、福祉の心で政治をただす、その決意で、来たる衆議院選挙に東京9区から挑戦します。新しい道を切り拓く大仕事に、ご一緒にとりくみましょう。

【プロフィール】
社会福祉士、保育士
スクールカウンセラー
（発達障害教育支援）
田村智子共産党参議院議員秘書

【略歴】
1964年東京生まれ52歳
1988年日本福祉大学社会福祉学部卒業、89年全国福祉保育労働組合勤務を経て障がい児療育に従事。一男二女の母

【趣味】
スキー、アルパ（ラテンハープ）、習字、押し花

【好きな言葉】
「子どもは社会の宝」